



「富士山から日本を変える～山から学んだ環境問題～」

アルピニスト野口健氏 講演会に参加して



① 講演会概要

2025年3月23日(日)快晴、兵庫県・西宮神社社会館にて、アルピニスト野口健氏による講演「富士山から日本を変える～山から学んだ環境問題～」が開催され、西宮市制100周年を記念して定員200名が参加しました。私たち「関西 PHP・SDGs(KPS)友の会」からも4名が参加し、PHPの理念とSDGsについて改めて考える貴重な機会となりました。

② 富士山の「A面」と「B面」

講演の中で野口氏は、世界文化遺産である富士山の美しい一面を「A面」と表現しながらも、「実際に現場へ行くと、富士山の病んだ「B面」が見えてきます」と語りました。不法投棄された大量のタイヤや医療器具などのごみの山を目の当たりにし、「寂しさを感じ、虚しさを覚え、強い嫌悪感を抱いた」と率直な思いを述べられました。そして、「富士山で起きていることは、他の場所でも起きている」と警鐘を鳴らし、日本たばこ産業(JT)が全国で展開する「拾えば街が好きになる運動」にも触れられました。

③ 環境と心のつながり

野口氏は、「氣(気)が良い場所には挨拶が多い」との視点から、挨拶のある街はごみが少なく、清潔な環境が心の健康にも良い影響を与えることを指摘。ご自身も嫌なことがあると「家中をピカピカに磨く」と話され、「家が荒れると心も荒れる」と実感を込めて語られました。また、白山(はくさん)では「ようこそ」と声をかけ合う文化が根づいており、地元の人々がごみを拾うことで、環境を守る意識が継承されていることを紹介されました。

④ 全国 PHP 友の会そして関西 PHP・SDGs 友の会の取り組みと決意

全国 PHP 友の会では、春と秋の年2回、全国各地で清掃活動を実施しています(2025年4月27日(日)全国一斉クリーン作戦に参加しましょう)。

今回の講演を通じて、私たちにもできることを改めて考え、一人ひとりの行動が未来を変える力になると強く感じました。「ともに日本を変える」同志として志を一つに歩んでいきたいと思えます。

(文責:関西 PHP・SDGs 友の会会長 金原由香)



【参考情報】石川、福井、岐阜の3県にわたり高くそびえる白山は、古くから霊山信仰の聖地として仰がれてきました。ふもとに暮らす人々や遥かに秀麗な山容を望む平野部の人々にとって、白山は聖域であり、生活に不可欠な“命の水”を供給してくれる神々の座でした。やがて山への信仰は、登拝という形に変化し、山頂に至る登山道が開かれました。加賀(石川県)の登拝の拠点として御鎮座二千百年を越える当社は、霊峰白山を御神体とする全国白山神社の総本宮です。

(白山比咩神社ホームページより)